

秋の“生活環境美化運動”が

始まりました

土を堀り返えして熱湯を注ぐか、薬品を

し、井戸換をする
● 水質を汚染する下水

ました。皆様方多数の御
見をお願いします。

佐呂間町共同募金委員長 菊池周藏

② 畳と畳寄せのスキ間
をなくす

昭和三十三年、国民たすけあい共同募金運動について御協力下さい。本年度の「国民たすけあい共同募金運動」は例年どおり十月一日より三十日まで、一ヶ月間、全国一斉に実施されることになりました。

イ、河川にゴミを捨てない

一四五〇〇千円
若佐農業協同組合
一一八〇〇千円

一、基金目標額二、四、三〇〇円

三三円
この内訳
(一) 大口募金五三、九〇〇円(池内寛氏外五一
名)
(二) 各戸募金一五〇、四
三三円
四、募金の配分内容及び使
途(別表(1))

び配分計画は次のとおりなっております

一、募金目標額二一〇〇〇円
二、配分計画
（一）町の福祉資金に
一四八、〇〇〇円
（二）網走支庁地区福祉
分二〇、三〇〇円
三、道地区福祉計画分
四九、七〇〇円

(1) 道路の愛護

險物をお
 ロ、路面、
 し、側溝
 らぬよう
 たする。
 ハ、水溜り
 (2) 河川の愛護
 イ、河川に
 ない

(5) 職場環境。

第二次
資金換

北海道農家
例に基ずく
金の割當が
通り指示す
る

佐呂間農
一四五
若佐農業
一一八

以上

負債整理の決定

歩行の安全のために

(四) シクナルのあるときは
信号が青になつてから通
(五) あまりス

二部（満八ヶ月以上繁殖用）
一等金太郎号 浜佐呂間部田
信一・二等バセンハンモ
ス・バレンタケシタ三〇
二号 浜佐呂間中瀬秋時・三
とう一せき 仔ダクサン号 佐
呂間小路谷千代・三とう二
せき 若里六の一号 若里徳田
榮太郎
三部（肉豚用）
一とうチライ一号 知来小林
幸藏・二とう一 号 若里鈴
木市郎・三とう一 佐呂間三
六八號 佐呂間実盛恒治

（二才比）

一等一富士号
二等一席スコ

三等二也き新
号知来片平俊

雄・三等三
位富

知來、四位武士、五
武士、浜佐呂間

日 時 昭和33年10日 9日
会 場 佐 呂 間 中 学 校

第四方面別婦人講習會開催

主 催 網走支庁管内婦人協議会
第四方面各町村婦人団体協議会
網走地方教育局
後 援 網走支庁管内社会教育連絡協議会
佐呂間町教育委員会

(実情発表)
遠軽婦人団体協議会実績発表

主題 和を求めて

会長 中 沢 タ キ

和と一口に申しますが生活環境又経済状態の各々違ふ家庭生活を営んで居る、主婦の集りである婦人会が団体生活を致し、事業を成しとげるには、会員の協力と和が無ければならないと云う事は皆様に御承知の事と存じます。

瀬戸瀬婦人会は遠軽町婦人団体協議会の一単位団となつて居ます。会員は約百名程有りますが其内の七割が農協婦人部で御座居ます。

瀬戸瀬は小さい部落であるだけに一つの家族同様に仲良く睦み合つて居るわけですから。

次に私共が事業を致した事を二、三、申し上げますと私共会員が一致協力して映画演芸農家の一日奉仕金雑布の回集など致して積立た貯金を元にして有志方の寄附も戴いて工費八十万の瀬戸瀬観光館を建設したので御座居ます。

此の場所は、今故人となられた寒河江榮作氏がやはり此地の美景に着目して観光地を目的として居ましたものと一口に申しますが生活環境又経済状態の各々違ふ風景の良い場所を選び建てた訳でございます。

ここにも温泉は有りますがこれは冷泉です。温泉としては余り発展致しません。春の花見や秋の紅葉の時期には相当の人の出入りがございまして近在の町村の皆様に大変喜ばれて利用されて居ます。私共も一つの事業が後に残つて村の発展の一端に役立つた事を会員一同喜んで居ます。これは一重に会員の汗と油の結晶で御座居ます。何事を致しますにも会員の協力と和合が一番大切な事です。私共としましては至らない者ですがいつも全員が一致団結して協力して下さいますので感謝致して居ます。

協力は親睦から生れると考へまして春の花見を旧の四月八日と決めて居ますが其日は御釈迦様の日なので戦時中武運長久を祈つて会員と当時の在郷軍人の協力をえて仏像を薬師山に建て致したもので御座います。薬師会は巖跳岩よりはるかに高

子供の健康を願つて

学校給食への奉仕 佐呂間町知来婦人会

はじめに 婦人会の歩みから

1 成結当初の婦人活動不振時代

●熱意や積極性がみられない。
●集会の出席率が極めて悪い。
●単純な感情のいきさつが聞かされる。

原因追求と対策

2 不振を打開克服して活発化してきた頃(昭和三十一年・二年)

●仲良く睦まじくを目標に
●高い理想を掲げず、平易に親しめる婦人会を目的に
●無くてはならない婦人会であるように

呼走
工夫

3 内容を充実させ張合いのある婦人会となつた現在。

●未端まで理解認識の度が高まつた
●役員も数を増し民主的運営が行届いた
●集会に楽しさを感じ出席率も百パーセント
●実のある仕事に意義を見出した

二 農家経営と食生活の実態

1 農業家庭の盲点

●耕地面積の狭小
●酪農経営の限界
●凶作の連続
●食作物の販売(不如意ながら)

一等から(経済的逼迫
家庭生活への皺寄せ

2 農家の食生活

(1) 主食物・稲作農家―米食及び代用食の混食
●島作農家―麦を主とした混食(うどん、南瓜、いも、焼パン)
(2) 副食物・菜食が主で偏つた単純な習慣食が多い。
(等時季に移行
●卵、牛乳もほとんど販売する
●魚類、肉類の購入は稀

(3) 嗜好品・飲酒量は多い(農協から借りて飲める)
(4) 栄養・一般にカロリーは不足であるが特に季節的に偏るためビタミンが不足したり蛋白質が欠乏したり脂肪分が不足したりする

3 子供達への影響

(1) 衣生活・体面を保ち健康を維持する最低限の服装は整えている
(2) 食生活・目につかない食事にがまん節約の皺寄せが来る
●栄養失調(体力不十分、發育不順(全国平均下位)) 疲労度増
●大等の現象があらわれている
●欠食児童もあり、弁当も至極粗末で調査の結果を引用させてもらふと

くコンクリートで固めるのに水を運ぶなど会員の苦勞は一通りでは有ませんでしたが、これも会員の協力で成し上げた事業の一つです。其日を記念致しまして当日は会員が登山致し其後私共の建てた観光館に集り一日親睦の日として楽しくレクリエーションで過して居ります。次に皆様新聞にて御承知の事と存じますが明治初年網走より旭川迄の道路開発事業に従事した囚人のお墓の発掘ですが昔の事なので其ま埋葬致して有り、何十年も放置致して有ましたので今年五月地元青年団と共に此囚人の遺体を四十六体を発掘致して盛大に供養を致し囚人とは云え道路開発の功勞者として其霊を厚く慰めて上げました。又私が今年喜びと致しましたのは別れて居りました単位団も合同致しまして名称も新しく婦人団体協議会となり力強く発足致した事で御座居ます。今迄よりも尚一相の力強い大きな団体となりまして会員一同喜びにみちております。

次に今年七月瀬戸瀬中学校校庭に於いて合同にて運動会を致しました其日は一日を童心に帰し何事も忘れずオーグダンスに競技にと打ちきようじ帰りに瀬戸瀬温泉に行き朝からの疲れと

生活改善を中心

佐呂間町に倉東生活改善実践会(農協婦人部支部)

私共の実践会の動きをかえりみますと、去る昭和二十九年秋、地元の新生活推進委員内藤学印さんのおすめと、支庁や町及び改良普及員等関係の方々の御指導により会の発足を致しました、その後先進地の視察や研究会等を通じ、遂次事業を進めて参りました。目標は、農村婦人の過重労働からの解放と、冷害等に依る農家経済のひつぱくの中から健康で且つ明朗な生活を建設して行くことであり、これら目標をもとに今迄行つて来た事業を申し上げます。

- 一、栄養食等料理の研究、講習会の開催
- 二、毎月二回食品その他日常物資の共同購買(市価の二、三割安に求めること)
- 三、毎月生活改善積立貯金の実施(全戸に貯金箱備付け、班長さんが集金に廻る)
- 四、台所改善無盡の実施

津田 しげを

を共同利用に生したものです。六、そのほかどこでもやつて居られるように生活改善事項なども取りきめまして実行に移すよう努力して居りますが、他の地区との交際の関係や、従来からの陋性などによつてなかなか困難なのが現状であります。以上、私たち東農事組合二十一戸の主婦達が、一かたではあります力な合せて動いて参りましたが、一つ一つ身近かに形となつて行く楽しさと、その形が私共の日常を少しづつでもうるおいのあるものにして欲しい歩みを続けて居ります。

弁当調査

在籍数	弁当を持たぬもの	漬物た	代用食	栄養上望ましい者	栄養上欠乏のある物
三年以上	一三	六三	四	五〇	一五〇
二年以上					
一年以上					

4 給食の必要感
子どもの心身を健全に発達させるため偏食を矯め栄養を高め食生活を改善して豊かな楽しい食生活の習慣を持たせる必要から学校において一斉に給食をすることが一番望ましいことである

三、給食奉仕の動機

1 学校参観日、母の会等における見聞
先生等の顔色、体勢、意気込に見られる卑弱さ
他校との比較で感ずる劣弱感
先進地の給食実施に対する希望

2 ユニセフミルクの受給と貧困児給食補助
ミルクを溶かして温めることに応援して
試験試食の会と話し合いに加わつて
当局からの好意に感ずる方策を考へて

3 学校の実態調査報告とアンケートによる促進
各家庭で配布を受けた報告により関心が湧く
アンケートについて真剣に考へる

4 婦人会幹部の決意
関係機関の手配を安閑を待ち切れず「せめて自分達で為し得る範囲の給食を子ども達の幸せと健やかな発達のためにやつてみよう」と苦難に打向う決心をする

四、実施に移すまでの経過

1 婦人会の世論喚起

役員会を数回開いて趣旨徹底を図り対策を協議
各地の給食実施状況視察(福豊小中、遠軽小など)
母の会において婦人会役員が中心となり話し合をし世論を高める
総会において意志の統一をはかる
反対意見者に納得させるため家庭訪問をする

2 他の機関や組織に対する働きかけ

PT会との協会の要請
部落役員会単調実行組合への呼び掛
町当局へ施設の要望
婦人会員以外の人達に対する説得
学校側との密接な連絡

3 経費の捻出
解と精神的協力を得たが、当局から予算の裏付けも得られず部落会PTも経済的援助の余裕ないため婦人会の自力で経費を生み出すことになり
稼働資金の拠出
資金造成のため員及び非会員一人一日以上の出役
収益事業の経営(映画会、演芸会、物品給送販売等)
物資の持寄り(代金を支払う物品購入を節約するため、野菜、調味料等の持寄りを協議)

(1) 解と精神的協力を得たが、当局から予算の裏付けも得られず部落会PTも経済的援助の余裕ないため婦人会の自力で経費を生み出すことになり
(2) 稼働資金の拠出
(3) 収益事業の経営(映画会、演芸会、物品給送販売等)
(4) 物資の持寄り(代金を支払う物品購入を節約するため、野菜、調味料等の持寄りを協議)

学校と手を組んで子供と共に 母親も成長したい念願から

若佐育友会 中 道 愛 子

私達育友会のことにつきましては同じ方面別婦人講習会で数年前に実情をお話し申し上げましたし、最近の網婦協機関誌「建設の母」にも記事をのせて頂いて居りますので私共の会のその後のおうきについて簡単に書いてみたいと思います

三、部落別懇談会の強化
一部の部落に於ては大変よく開かれて居るのですが、まだのところもありまして、月別に部落をわけて先生方も三班にわかれ、参観日に出席出来ない多忙な父兄や母親のために強化して行きたい

この秋学校で理科教育研究会が開かれますので、その教材教員の一部を購入して応援すること
校長室のカーテンを購入して環境をよくすること
あまり間口を上げずにただ着実にたゆみのない歩みを続けて行く事を皆さんが念願して居られます

四、育友会積立金の使途方法について

農協を中心に婦人も共に 農家の更生をめざして

佐 呂 間 町 農 協 婦 人 部

一事業計画（昭和三十三年度）

私達農協婦人部は農家経済の中心である農協を組織の力で育成し婦人部一丸となつて営農体制の確立に努力致し度い
特に本年は私達の常に主張して居りました生活改善の問題について新農村振興協議会が町に設置されその生活改善専門委員に農協婦人部長が委員として参加することとなる

一、他町村小学校参観について
私たちが子供をお願いしている学校の教育をよりよく進めて行くために、他町村有名校を見学して来たい
その具体化の一歩として十一月五日頃、遠軽小学校を参観の予定です
二、育友会研修会の開催
講師をお招きして有意義な講演をお聴きしたい（十一月末の予定）

一方農協拡充五ヶ年計画の推進委員中にも交り参加強く私達の意見を計画に入れ実行に移す機会を得たことは農協婦人部々員全員の結集の賜と存じます。そのためには更に組織の強化と共に資質の向上を計り寒地農業確立の目標達成のため婦人部本来の使命の実現化に左記計画を重点に最善の努力を致したい
一、事業計画

- 1 組織強化
イ 婦人部加入運動
地域的には全部の加入を見たが今後の運動を全戸加入運動にしたい
ロ、懇談会の開催
部落単位又は支部単位に懇談会開催の場所都度農協より役員派遣育成強化を計り度い
- ハ、講習会、研究会の開催
系統組織とも連絡各種講習会や研究会を開催し資質向上を計りたい
- 2、生活改善事業
新農村建設専門部に委員を出し農協と共に町を挙げて本運動の実現を計り度い
- イ 食生活の改善
ロ 冠婚葬祭の簡素化運動
ハ 新生活運動の提唱
ニ 農事視察
ホ 羊毛集荷
- 3、農家経営事業
イ 家の光 家計簿の普及運動
ロ 営農計画達成協力
ハ 農生産物品評会の協力
ニ 農協事業の推進
- 4、農協五ヶ年計画運動の推進達成協力
ロ 生産物の農協全面出荷
ハ 小家畜導入及肉畜販売
ニ 鶏卵集荷体制の確立
ホ 組合マーク普及運動
ホ 家庭菜園戸普及運動
ハ 貯畜推進運動
- 5、昭和三十三年年度收支計画（次頁別表）

- (4) 労力の提供、炊事婦を雇うわけには行かず交替当番制で労力奉仕を申合せる
- (5) 幹部の自弁、奔走のための乗物代弁当等全部自弁
- 4 施設、物資の手配
経費その他の理由から完全に給食を断念し、味噌汁温食給食の段取をする
(1) 湯沸釜の構築 冬に向つた十一月下旬セメントを凍らせまいと夜明かして炭火を焚いてかまどを築く
(2) 器物の調達 食器三〇〇ヶを産地より直接購入、パケツその他を準備
(3) 器具の購入 ミキサー、外刃物類を取揃える調理台所製
(4) 粉乳の利用 活用方法を研究
(5) 味噌集め 一子ども一人五〇〇匁以上の寄付、持寄り
(6) 野菜供出 子供一人分二匁五〇〇匁、三匁友
(7) 煮干、砂糖、若目、油揚げ等の購入、
以上を要した経費は三十一年末から三十二年までの間六万円を上廻つてゐる
尚本年度、給食準備室を町費で整備して頂いた
- 五、給食開始とその状況
一昨年（三十一年）末十二月十七日苦心惨闘八方奔走の末漸く準備を整えて感激の給食実施となり子供達のはしやく声、先生方の笑顔に接して苦勞吹飛ばし思いを抱く
1 献立 栄養価カラー計算を基礎に一週間分作製
例 月 だんご汁（野菜を加えて） 不満足であるがこれだけでもやつと
火 油揚げ汁 だんご汁 金 だんご汁（野菜を加えて）
水 汁（野菜を加えて）
金 汁（野菜を加えて）
特 月に一度位、汁粉やその他の高程度の物を与えた
有志の寄贈で時折豊富な内容品が入ることもあつた
- 2、調理
イ 会員二名宛輪番制で奉仕
ロ 女子先生、臨時用務員の助力を仰ぐ
ハ 会長や幹部の交替出勤
ニ 組長は寄付を受けた残り材利用を工夫したりで間に合せる
ホ 午前八時開始で昼食時までに準備完了
食器洗、片付け終了が三時頃となる
季節によつて出役不能の時は中学生女子によつて継続された
- 3、経費（三十一、二年度）
支 入 四万九千一百円 七万九千八百六十四円
出 六万一千四百五十五円
収 入 一万九千七百九十九円
- 4、給食の利点
施設費（金類外） 八、〇三〇
備品費（器物器具類） 二七、五四〇
物資費（調味料蔬菜類） 三三、九一五
同じ物を一緒に食べることから差別を気にすることがなくなり望ましい食事訓練がなされる

佐呂間町内の各婦人団体 に對するアンケート

教育委員会が実施した三つの質問に對して寄せられた町内各種団体（単位）の回答は本年にどんな事業を計画しているか。また、あなたの団体の人は、会の活動を通してどんな事に楽しさや明るさを感じていますか。あなたの団体は会の活動のどんな面に最も難しさを感じていますか。

(別表A)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
助成金	三〇、〇〇〇	助成金	三〇、〇〇〇
奨励金	二五、〇〇〇	負担金	七、二〇〇
農協助成金	五〇、〇〇〇	視察費	四〇、〇〇〇
緑地金	一、八九六	会議費	一〇、〇〇〇
合計	一〇六、八九六	雑費	八、〇〇〇
		合計	七、六九六

料理講習会 年間八回
製パン講習会 年間三回
(部落会館に婦人会がパン窯を築いたが、良いパンを作る技術の研究している)
①の質問に對して
●産業部の仕事として
(一)土壌検定の講習会 一回
(二)肥料配合講習研究会 二回
(三)小畜畜飼育管理の研究会と視察
(四)羊毛の集荷 春一回
(五)農家簿記帳研究講習会 二回
●義務部の仕事として
(一)おしどり会（夫婦単位の会合） 春秋二回
(二)生活改善講習会 数回
(三)反省会 一回
(四)日用品の共同購入 六回
②の質問に對して
衣生活、食生活改善講習会と製パン講習会に特に大きな期待と関心をもっています。
③の質問に對して
(一)会員の出席率をよくすること
(二)皆さんの意見をまとめること
●或る部落単位の婦人会の場合

オ一の例（一八〇戸一三二名）
①の質問に對して
(一)会員の一般的資質向上のため管内近隣町村の視察、四月二十五日、実施、参加会員二〇名視察地留辺蘆田及北見市内各工場、社会施設
(二)栄養講習会 実施予定期 十一月上旬
(三)各種婦人研修会受講 各地に開催される各種婦人研修会に出来るだけ多くの会員を派遣した
(四)毎月一回学校参観することによって子女の教育懇談を積極的に行っている
②の質問に對して
春の運動会、秋の祭典に資金獲得のため油揚げ類を取次いでいるが、これには全会員協力する、この事業を通じて得た利益は会員の各種レクリエーションに使用する様になつてから、会員の団結と明るさを増して来た。
③の質問に對して
集会などの場合、会員は大體良く集合するが、一般会員の発言が極めて少なく、課題提案者及幹部の意見で決定される場合が非常に多い。ほんとうに趣旨に賛成のか反対か不満の意思表示

(ロ) 湯気と香気の漂う教室は楽しい微笑の連続で和やかな雰囲気になる。
(ハ) 漬物だけの弁当でも事足り飯や菜を余す者も出る。
(ニ) 昼食を待ち受けるようになり暗い影は一掃される。
(ホ) 帰宅後再度の昼飯やおやつをとる子どもが減る。
(ヘ) 偏食の矯正に役立った。
(ト) 栄養を増し体重の増加が認められる。
反省と将来への願い
六
1、完全給食にまで押し進める必要を痛感する
2、婦人教師や女生徒の努力負担は苛酷である。専門炊婦がせめて使丁兼の用務員が欲しい。
3、フランスのとれた栄養補給が望ましいとともに知識を充分にしたい。
4、施設設備を完備してもらいたい衛生、保温等も考慮水道施設によつて水に関する、安心と利便を得たい。
5、調理者自身の衛生観念をより向上させる必要がある。
6、張合いのある仕事を愉快に続けることができ、一般の理解も深まって障害なく熱意をこめて終始しているが、なかなか、このことによつて婦人会の団結協力態度が日に増し固つて行くことは望外の幸である。

くりへの協力
②の質問に對して
昨年と本年と二回行った青少年クラブと共催の料理コンクール及懇談会は会員の出席も多く楽しい集いで大變喜ばれました。集いを多くもつ事が喜ばれますが、名のみで会員のために各実行組合単位のグループが来て居りまして、月一、二回の会合をもち、日用品の取まとめ購入とか、野菜の作り方、料理の講習等を行い、小さな子供さんの有る方も集合出来て、次の集会を楽しみにして居ります。
(一)公民館炊事場設備資金につ
(二)座布団六〇枚を部落公民館に寄贈付
(三)花嫁貸衣しよの洗濯（既に会でもつている）
(四)羊毛の集荷
(五)学校運動会への参加
(六)敬老会の御手伝
(七)座布団六〇枚を部落公民館に寄贈付
(八)公民館炊事場設備資金につ

てから、何時もなか／＼出席して頂けなかつた方も明るさを感じ出している様に思はれます。又、敬老会のお手伝を当番制にしましたことも、当番に当りました方々は全員出席して頂けて、会の活動ということもわかつて頂けて大變よろしい様に思ひます。
③の質問に對して
特にありません。
オ一の例（一五〇戸八〇名）
①の質問に對して
(一)共同購入（会員全部が安いものをそろえて利益を会の資金とする）
(二)学校給食（今年から週一、二回の完全給食を計画）
②の質問に對して

(一)集会にレクリエーション

を取り入れて会合の楽しさを増し、現在の出席率一〇〇%である。会員の暗さは少しも感じられせん

③の質問について

会員の労働過重のため集会の時間的に困ることも有る。

④の例(三九戸二八名)

①の質問について

計画しておりますがよい方法がありましたらお教え下さい

②の質問について

特にありません。

③の質問について

会員の理解又は関心が薄く会合に集る場合困難です。

④の例(一七五戸七五名)

①の質問について

三月一温根湯行慰安を兼ねた研修会

四月一ボロ集めによる座布団の作製

四月一養豚養鶏資金の貸付夏期は浜の各作業を通じ婦人部員の部落に盡す処大

十月一慰安映画会

十一月一魚の保存法料理について講師を招いて講習会開催冬期講習に料理研究会(数度開催する)

市街の人達でグループ編成を生かしている

佐呂間婦人会の活動状況について

太 知 フ サ エ

会の組織	会長 一名	理事 八名	幹事 七名
	副会長 二名	書記 二名	連絡員 二名
	顧問 若干名	会計 二名	

二、会の運営を円滑にするために左の部を置き班の理事が部長にあたる

区域別	一班	二班	三班	四班	五班	六班
全会員を地	一班	二班	三班	四班	五班	六班
域別に	一班	二班	三班	四班	五班	六班
二班	一班	二班	三班	四班	五班	六班
四班	一班	二班	三班	四班	五班	六班
六班	一班	二班	三班	四班	五班	六班

三、行事一覧表

月	行	事	部	実	施	事	項
5	花	見	娛	(1) 会費五〇円 (2) より若干の飯食代を出す (4)(3) 日時場所は部に一任 各班より二つ以上余興を出す			
6	公衆道徳運動	教	教	(1) 運動会の腰の整理方について一般に呼びかける (2) ちり箱を用意する (3) マイクを通して注意をうながす (4) 後始末を行う			
7	紡績工場見学	教	教	(1) 地元の産業状況を学ぶ (2) 地元の部に一任			
8	盆 踊	娛	娛	(1) 八月十四、十五、十六日七時半より九時まで (2) 母親として子供をよりよく守り育てる 為、祖先に対する供養を兼ね子供を健全なる環境のもとにおいてたのしむ (3) 青年学校商工会の協力をもとめる			
9	敬老会	娛	娛	(1) 九月中頃、接待、余興、料理、其の他種々の準備に全会員をもつて行事にあたる			
10	料理講習会	家	家	(1) 講師は地元の栄養師さんに協力を願う (2) 栄養料理を主として講義を願う (3) 会費五〇円 (4) 経費の不足分は会費にてまかなう (5) 会場は学校、日時は部に一任			
11	衣料交換即売及手芸品其の他展示会	家	家	(1) 十一月の中頃場所は議事堂の予定 (2) お互に子供が成長したため着られなくなったもの柄のはてなになったもの等の不要なもの、廃品の更生、手芸品などを展示し即時販売、生活の合理化を計る			
12	歳末助合運動	家	家	十二月月上旬衣料品、其の他生活必需品を贈る状況に応じて募金又は種々の方法により献金する			
1	新年会	娛	娛	(1) 花見同様会員の最も楽しみとして一月中頃行う (2) 会費一〇〇円			
2	修養座談会	教	教	(1) 報徳講座、町有志、学校の先生などによるお話し合いの機会を持つ			
3	修養座談会 公衆道徳運動	教	教	(1) 運動と同様に学芸会場に於ける呼びかけ、整理をする (2) 雑布の回収 (3) 廃品回収 (4) お茶の講習 (5) お踊の研究			
其の他							

秋の火災予防運動実施

本年もまた採暖季節を迎え、三、避難の方策

火災増発の時期がやつて来ました。防火思想をより一層高揚するとともに消防態勢を整備充実し、出火予防と損害の軽減を図るため、来る十月十三日から十九日までの一週間の秋の火災予防運動週間と定め全道的にこの運動を実施することとなりましたのでお互いの注意により私達の町からは一件の火災も発生することのない様御協力をお願いいたします。

記

一、火気使用器具、設備の完備

火災は採暖具等火気設備の使用上のそろう、管理不良等、日常生活に直結したものが多く、これ等はささいな注意で防止できるのですから、これ等設備の取付け使用管理につき特に注意をして下さい。

二、電気火災の防止

電気火災も漸増の傾向にあり電気器具の使用管理について注意すること、特に老朽及び不良施設については、交換、修理等の方法を講ずること。

火災による死傷者も増加の傾向にあり特に冬期になると一時に多数の死傷者を生ずるおそれがありますので常に避難路、道路の確保、及び普段の心構えについて方策を構じておくこと。

四、特殊建造物の防火態勢の整備

特殊建造物の火災は防ぎようが困難であるのみならず延焼拡大のおそれが充分あるので普段より消火設備、防火の対策について心掛が必要でです。

五、町の実施計画

一、秋の統合消防演習を実施し、団員の訓練、消防施設の点検整備をなし消防力の強化を図る

二、共同聴取施設(スピトカー)を利用し火災予防について啓蒙する

三、その他

